平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標	2	新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標	4	はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに
重点的取組	1	市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

担当課名			自治振興部 地域政策課
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	03	公民館費

事業名	公民館活動一般事業	事業開始年度	昭和 48 年度
	市民センターを中心とした地域づくりの学習の場の提供	根拠法令 条例 個別計画 等	社会教育法、廿日市市教育振興計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の（何の）ために	【目指す姿・意図】（いつまでに、どういう状態に）
	乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした市民	生涯学習機会の提供をはじめ、地域課題の解決に向けた地域活動の支援など、多様な役割を発揮し、人づくり、地域づくりの拠点として機能する施設を目指す。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所（職員）の役割	関係団体（パートナー）	関係団体（パートナー）の役割
市	地域課題等を反映させた自主事業の企画・実施及び公民館企画運営委員会等が実施する市民主体の事業支援	公民館利用者、市民センター区域内のコミュニティ推進団体	知識や技能を高めるとともに、それらを積極的に活かしたまちづくりに取組む

3 平成 27 年度 予算 （事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

☆各市民センターに報償費等、必要予算を分配し、各市民センターで主催事業を実施する。
☆各支所地域づくりグループ（廿日市地域においては地域政策課）と市民センターの連携を促進し、
市民センターを拠点としてのまちづくりを目指す。
☆主催事業
家庭教育支援、青少年育成、現代的・社会的課題（男女共同参画、人権、環境保全、地域防災・安全、消費者問題等）、地域課題、高齢者学級、健康増進、平和学習、伝統文化継承、情報化など

【歳出（経常）】

報償費	5,909 千円	〔主催事業講師謝金, 市民センター平和祈念事業〕
旅費	209 千円	〔主催事業講師旅費など〕
需用費	458 千円	〔消耗品費〕
使用料及び賃借料	52 千円	〔著作権使用料など〕

【歳出合計】
6,628 千円

コスト情報（円）

項目			平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
直接事業費 A			5,367,235	6,667,000	6,628,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	借入金（市債）					
	その他（使用料など）					
	市（市税など）		5,367,235	6,667,000	6,628,000	
人件費（按分）B			22.00 人 186,692,000	22.00 人 187,242,000	22.00 人 190,278,000	
総事業費（A+B）			192,059,235	193,909,000	196,906,000	
単位コスト換算	①	人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
		市民1人当たり	1,632	1,648	1,680	
	②					

目標到達度

	活動及び成果指標	単位	H25 実績値	H26 目標値	H27 目標値	備考
活動	市民向け講座の年間開催件数【教育振興計画指標】	回				
成果	生涯学習への支援や学習機会の提供に対する市民満足度	ポイント				